

# 訪 日 雑 感

高 迪 （女 17才 高校3年 ホストは間地政広さん）

初めて外国に行く人がみな私と同じ気持ちでいるのか知りませんが、私は興奮と不安が入り混じっていました。自分の荷物を引いて正真正銘この訪問団の一員になってみて、分かりました。何て幸運なんだろう、優秀な仲間にもまれて、意義深い旅行に出発できるなんて。目的地は日本なのです。

飛行機に乗り、あれこれ退屈しのぎをしながら3時間を過ごし、あと30分で到着という頃、飛行機の窓から、波立つ真っ青な海と対峙するかのように黄緑色の陸地が見えました。あれが日本。碁盤の目のように仕切られた田畑が、若竹色や黄金色、黒味がかったり赤茶けたりと、色とりどりに広がり、この国の豊かさを感じさせます。不ぞろいに点在する家屋が穏やかさを表しています。ほんの一時の眺めでしたが、美しい所だというのが日本の第一印象です。

空港の出迎えは若者とばかり思っていました。成田空港に着いてみると、早々に私たちを待っていてくれたのは、おじいさん、おばあさん、と呼びかけたいくらいの年配の方々でした。この方々のおかげで、私達の緊張はすぐにほぐれ、友好親善一色となりました。



大型バスで1時間ほど行くと、友好訪問都市、柏市に着きます。道中、強く印象に残ったのは、清潔という一語に尽きます。きちんと整備された車道には紙くず一つなく、道端にゴミ箱が並んでいるわけでもありません。ここの人々の環境保護に対する意識と素質の高さがうかがわれます。新鮮な空気は気持ちがいいと誰もが言いますが、確かに、飛行機を降りてから、湿り気のあるさわやかな空気を吸ったおかげで、道中の風景を楽しむことができました。二階建ての小さな家が寄り添うように立ち並んでいても整然さと生気を失うことなく、田畑が広がり、傍らを川の水が激しく流れ、冬でも青々とした竹林が郊外道路を両側から包み込んでいる。このような絶えず入れ替わる美しい景色に目を奪われているうちに柏市役所に到着しました。

また緊張感がよみがえって来ます。日本で身を寄せることとなる家族にこれから会うのです。心温まる歓迎会が開かれ、私たち9名は、ある者は英語で、ある者は日本

語で、簡単に自己紹介しました。続いて、すぐに私はホームステイ先に案内されることとなりました。

私のホストファミリーは間地さんといって、御主人の間地政広さんは海外旅行を扱う旅行会社の社長で、私たち訪問団の引率者である肖さんの友人です。その旅行社の仕事の半分以上は中国旅行だそうで、御主人の中国語は大したものです。ホームステイ中にお会いできたのは、御主人と奥様、そして娘の直子さんの3人です。奥様はとてもやさしくて、飾り気のない、まめまめしく働く方です。私を迎えに来て下さったのも奥様です。直子さんは玄関先に迎えに出てくれていましたが、以外にもすっぴんで、内面の美しさが表に現れ、振る舞いが上品でいて尚且つ活発さも失っていません。せわしなく仕事に追われて疲労感の漂う日本の若者のイメージとは程遠い、笑顔に親しみが感じられる素敵なお方です。ただ、残念なことに、中国語が話せないのが、私は苦手な英語で交流しなければなりません。間地さんには、まだ息子さんがお二人いらして、上の方は現在北京にいらして、下の方も中国で勉強された後東京に勤務していらっしゃるそうです。このように中国と縁のある家庭で生活できたことは、私にとって本当に幸運でした。

間地さんのお宅は2階建てで、私は2階に泊まることになりました。家の造作、部屋の装飾は、現代的なものの中に伝統を残しています。炬燵に入って液晶テレビを見ていると、時間がたつにつれ、足がしびれて感覚がなくなってしまうのですが、こういう普段と違う生活が体験できて、むしろ嬉しく思います。間地家での生活は楽しく有益なものでした。朝は御主人と一緒に新聞を読み、日本に関するお話を伺い、時には漢詩や魯迅などの中国文学から三国志の曹操のことまで、いろいろとお話することができました。奥様とは、中国語の勉強をお手伝いさせていただくことになりましたが、外国人の中国語学習は、私たちがするのとは明らかに異なり、文法の一つ一つから始まりますので、私の手に負えないこともたくさんありました。しかし、心から嬉しく思うことは、私たちの言語がますます普及し、国際化していることです。夜は、私の日本での体験を話題に、おしゃべりの花を咲かせ、楽しく過ごしました。



日本、特に柏市のある千葉県は、雪が少ないそうですが、私たちが行った時はちょうど雪が降りました。木々の緑の中に雪が舞う光景はとても情緒があります。訪問

期間の初めの2日間は、日本では大学入試が行われており、試験場を出てきたばかりの興奮した面持ちや開放感から気楽な表情を浮かべる受験生の姿、門の外で苛立った様子もなく待っている家族の姿などをテレビで見ると、日本の学生たちをうらやましくも感じました。

私たちの日本滞在は6日間ですが、市長との面会や東京大学、柏市のゴミ処理場、病院、老人サービスセンター等の見学、東京ディズニーランド、柏市立高校の演奏会など、盛りだくさんの日程を作っていただきました。中でも私の印象に強く残っているのは、麗澤高校の参観と茶道の体験でした。麗澤高校では設備の充実していることもさることながら、カリキュラムの選択が生徒の希望に基づいて行われていること、放課後の課外活動が充実していること、生徒が成績の向上を追求するだけでなく、あらゆる面で自分の才能を伸ばし、社会に受け入れられるように努力をしていることに、私たちはとても啓発されました。日本の茶道は、日本文化のユニークな一面であり、風流な茶室の中で、和服の女性にお茶を点てていただきましたが、動作の一つ一つに意味を持たせた真剣な作法は、お茶を味わう楽しみと同時に人としての修養につながることであり、感心いたしました。

6日間の滞在期間中、ホストファミリーの皆さんに温かく友好的に接していただき、行き届いたおもてなしを受けたことは、忘れません。相互友好訪問は、平和友好を愛する人々の努力のたまものです。柏市の優美さに驚嘆すると同時に、自らの至らなさを反省しております。私たち若者は、先進的な科学技術、教育、医療の成果を学習し、周囲の人々にそれを伝え、自分の故郷を更に発展させるため奮闘努力する責任があります。高校での勉強は単に合格通知をもらうことが目的ではなく、国家の建設、発展に貢献するためです。柏市並びに柏市の友人の皆様を敬愛申し上げます。

柏市の益々の御発展を祈念して

柏市と承德市との友好親善の発展を祈念して